

## 会議録

会議の名称	令和２年度 第１０回座間市地域包括ケア会議		
開催日時	令和 ３年１月１２日（火） 午前１０時００分～１１時３０分		
開催場所	座間市役所３階３－１会議室		
出席者	落合委員、高間委員、川南委員、後藤委員、松永委員、平原委員、金子委員、宮田委員、		
事務局	健康部介護保険課 宮下主事、植野主事補、吉川社会福祉士		
会議の公開可否	□公開 □一部公開 ■非公開	傍聴者数	０人
非公開又は一部公開とした理由	座間市地域包括ケア会議開催要綱第６条に該当するため		
議題	１．危機管理課との調整結果に基づき今後の開催内容の確認		
資料の名称	座間市地域包括ケア会議及び座間市在宅医療推進協議会 チーム会議（子会議） 概要		
会議の結果			
議題１	各包括ごとに課題検討会議として計画していく。 ・時期：４月中旬以降 ・場所：ハーモニーホール大会議室（メイン会場候補） ・目的：新防災マップの説明と防災のことを知ってもらう。		
議事の概要			
事務局	令和２年度 第１０回座間市地域包括会議を開催する。		
事務局	議題１について 危機管理課との意見交換について 危機管理課の新防災マップに係るスケジュールを報告。 ① 令和３年２月１９日：業者より市にマップが納品される。 ② 令和３年３月中旬：全戸配布予定。 ③ 意見交換は、令和３年４月以降が望ましい。		
委員	議題に入る前に、会議を進めていくうちにこの会議がどんな会議であったのかわからなくなり、資料を配布させて頂いた。皆で確認しながら進めていきたい。		

委員	議題について、各包括で研修について報告したところで何か意見があったか確認したい。
委員	会議後、包括内職員に報告をした。危機管理課と虐待向けのメンバーで防災マップについて研修をする話をしたところ、了承され何も意見はなかった。
委員	メンバーに伝えたが意見はなかった。
委員	ざっと内容を伝えたが、何も意見がなかった。
委員	議事録を作成して回覧したが、意見はなかった。
委員	会議の中身を伝えたところ、防災マップの配布方法について確認が必要である。防災なので危機管理課主体がよいのではないか。防災については高齢者だけでなく、子どもや障がいの方にも必要なことである。県域ごとの実施のほうが良いのではないか。県域ごとならば社協が主体となる。 住んでいる人全員が対象となるので、広げて開催し、県域の活動につなげたほうがよいのではないか。包括主体であると高齢者だけとなる。包括が主催する内容なのか。社協の考えを聞きたいが、今席を外している。
委員	包括主催で進めるべきなのか。広めの開催が良いのか。意見はあるか。
委員	色々な部署と連携して大々的にやるのか。とりあえず最低限のところで行うのか。どこまで大体的にやるのか。広げすぎるのもどうなのか。
委員	広げるのがよいのか。どちらがよいのか皆で選んでいくのか。コロナ感染拡大の中大々的にやるのが良いことなのもある。
委員	緊急事態宣言もある。企画してもできるのかわからないところがある。 コロナの感染が前回の会議の状況とは異なっている。防災について考えると高齢者だけが対象ではないと思う。
委員	包括は高齢者担当なので関係者の方々だけの周知でよいのではないか。
委員	情報弱者である高齢者に防災の情報をどのように届けるのか考えたときに虐待見守りネットワークメンバーを呼んで集めることで防災の情報が高齢者に伝わりやすいと思われる。やる意義があり、必要であると思う。
委員	支える専門職の方たちにも理解してもらうことで、大きな災害があったときに必要となり大切である。
委員	6包括の中で5包括は意見がなかった。1包括のみ意見があった。
委員	報告したときに、中身の問題と主催者についての意見があった。
委員	包括主催で何が悪いのか。個別ケア会議や地域課題検討会議から8050問題をあげ取り組んできた。それについても終わっている訳ではなく、継続している。

	<p>災害に関しては台風１９号を教訓に親会議でも色々議題が出たところであり、我々ができるところは何かを探して今回の開催の形になった。災害は市民全体の問題であり、全周知させることはよいが、誰かがカンフル剤になる必要がある。我々のノウハウを生かしてできそうであり、その強みがあるので現実的に会議で実施していくことになった。やってよいのではないか。我々も不安であるし、我々を取り巻く高齢者一人一人、関係者と知識の共有をすることは大切である。危機管理課にとっても周知ができる良い機会である。全ての市民への周知は別の機会をもてばよいのではないか。共同してやれば一番良いかもしれない。しかし、前回の会議でも議論したが、人数が多くなることへの懸念があった。</p>
委員	<p>前回の会議で広い場所を確保して実施していくということになった。</p>
委員	<p>コロナ感染のことを言ったらキリがない。何も企画せずに、何もやらないのか。やれること、やれる範囲で我々が、いの一番でできるならやればよい。もやもやすることなく、我々を含めた関係や高齢者とより多くの知識の共有や機会を持てることが大切である。</p>
委員	<p>自分の包括で出たのは、企画事体のことではなく、声を掛ける範囲やどこまで広げるのかである。</p>
委員	<p>それについては前回会議での話では、できる範囲で行っていくことになっている。対象者を広げることで会場や感染症の問題もあること確認している。</p>
委員	<p>できることをできる範囲で、現実的なところから実施することでよいか。</p>
委員	<p>危機管理課として包括が主催することについてはどうなのか。</p>
事務局	<p>危機管理課としては前向きで、話す機会があるならばどこへでも行くといった考えである。主催者は（包括・市民）どなたでもよい。</p>
委員	<p>１包括から包括主催でやるべきものではないという話があるが、包括主催でやるのがなぜいけないのか。どこの主催を待ってやればよいのか。</p>
事務局	<p>解決策になるかどうかかわからないが、課題検討会議に含めて開催してもらうことでよい。地域のことを考えているセミナーである。包括が地域で必要と思われる方々を呼んで、キャッチボール形式で行うことが前回の会議録に記載されていたと思われる。研修方式でも構わない。考えられる最善の方法でやっていただければと思う。</p>
委員	<p>他に意見はあるか。</p>
委員	<p>課題検討会議として行うことはよいことである。高齢者を支える事業所や民生委員にまずは防災について知ってもらう。特に自分のエリアは防災に</p>

委員	<p>ついて地域課題でもある。企画することは良いと思う。</p> <p>地域的には河に隣接しているので氾濫しやすい。包括に勤務して住民から防災についての意見はないが、防災について知ることによって今後の取り組みとなり、ありがたい機会である。</p>
委員	<p>できるところからやっていくということによいか。中身について検討する。</p> <p>① 場所については、サニープレイスやハーモニーホール等の広い場所。</p> <p>② 時期については4月以降。各々で準備していく。</p> <p>③ 時間は説明と意見交換で1時間程度。</p>
委員	<p>新防災マップの説明後、前回の話のように、避難場所と避難所の違いや台風19号の教訓、知っておく心構えなどの講義をしてもらう。その後一番よいのは、グループワークである。個人個人では意見がでないのではないと思われる。しかし、コロナ禍でのグループワークも危険を伴う。前回の会議で提案したが、事前に質問事項を準備しておくのがよいのかもしれない。</p>
委員	<p>事前に質問を準備しておくことは危機管理課としても答えやすいのではないか。</p>
委員	<p>民生委員はたくさん聞きたいことがあるのではないか。あのときは大変であったなど。</p>
委員	<p>目的としては、防災のことを知ってもらう。意見交換しながら、防災について考えてもらう。</p>
委員	<p>感染症を防ぎながらの避難は国レベルでも答えがでない。</p>
委員	<p>避難すること事態が密になる。</p>
委員	<p>昨年コロナ禍で実際に避難した地域があったと思う。危機管理課で他の自治体の取り組み等の情報があるなら話してほしい。コロナ感染も最大レベルになっている中で、感染に関する安全対策についても話してもらうとタイムリーであると思われる。</p>
委員	<p>参加される方は防災マップの見方もわからないと思われる。まずは基本的なところからの話をしてもらった方がよいと思われる。</p>
委員	<p>自分達も防災マップの見方を知らなかった。</p>
委員	<p>参加された方々のレベルの中で危機管理課の話を聞きたいということで発展するとよいと思われる。</p>
委員	<p>発展してよいと思われる。フットワークの軽い我々が先に取り組む。包括主催でよいのではないか。</p>

委員	確認であるが、時期は4月中旬以降で、場所はサニープレイス、ハーモニーホールのような大きな会場で開催。
事務局	サニープレイスと市民健康センターについて、健康づくり課からの情報によるとワクチン接種の会場になる話がある。まだ公にはなっていない情報である。
委員	ハーモニーホールの利用できる会議室は何があったか。
事務局	大・小ホール、大・中・小会議室である。コロナ禍では利用率が50%になっている。小ホール200名、大会議室32名、中会議室22名、小会議室15名である。
委員	予約について、市で優先的にとることはできるのか。
事務局	確約はできないが、相談頂ければできる範囲で対応する。
委員	民生委員の数が多いので30名定員であると厳しい。
委員	参加に関して中途半端に制限をかけると後々難しいことが出てくる。以前老人会の制限をかけたところ、次回から参加されなくなってしまった経験がある。
委員	コロナ禍なので団体代表という話が通ると思われる。
事務局	感染状況による国の基準が変われば、収容人数の変化もある。12月においては、感染が落ち着いていたので収容人数が80～100%で50～60人であった。
委員	ハーモニーホールの4月の空き状況はわかるのか。
事務局	2カ月前の予約であるので2月になればわかる。4月の候補日を挙げてもらって予約もできる。
委員	サニープレスが使用できなくなると、ハーモニーホールに流れる団体が増えるのではないか。
事務局	活動を控える団体もあると思われるので、全部が流れる訳ではないと思われる。
委員	4月の中旬以降の午後で空き状況の確認をお願いしたい。
事務局	3月の子会議までに分かる範囲でお知らせする。
委員	ハーモニーホールの予約が難しいときは各包括内でやることになる。
委員	自分の包括エリアでは場所がないのでハーモニーホールの利用でお願いしたい。
委員	意見をまとめる。
	① 時期は4月中旬以降。
	② 場所はハーモニーホール大会議室をメインで予約。

場合によっては、各包括で確保する。

- ③ 準備をして日程を決め案内していく。
- ④ 課題別検討会として計画する。
- ⑤ 講義の内容は新防災マップの基本的な説明をしてもらう。  
併せてコロナ禍での避難の仕方や感染対策の話が聞けるとよい。
- ⑥ 意見交換形式で講義のみとしない。
- ⑦ 案内を出すときに事前に質問事項を聞く
- ⑧ 開催後、自治会や民生委員等団体での開催に広がればよい。

事務局

議題についてはこれで終了する。

その他何かあるか。

事務局

在宅チームより伝言。２月９日の会議に相模が丘在宅診療所の塚原先生が、会議に興味があり傍聴で参加される。ご承知おきいただきたい。

【次回】座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会

日時：令和３年２月９日１８：３０～

場所：サニープレイス多目的室